

今回の訪問先



九州大学

大学院薬学研究院 精密分子変換化学分野
丹羽 節 教授

研究テーマ | Subject of Research

複雑な化学構造を持つ分子の 精密変換法の開発

研究内容

有機合成化学は、医薬品や農薬、機能性材料など、私たちの暮らしを支えるさまざまな分子を生み出してきました。しかし近年、創薬や生命科学研究で求められる分子はますます複雑で巨大になっており、それらをすべて一から合成することは容易ではありません。そこで私たちの研究室では、「複雑な分子をゼロから作る」のではなく、「すでにある複雑な分子を賢く作り変える」ことを目指しています。天然物や医薬品、生体分子などの複雑な分子を、必要な場所だけ選択的に変換できれば、新しい医薬品候補分子や生命現象を解明するための分子を効率よく生み出すことができます。私たちは、このような精密分子変換を実現する新しい反応や触媒の開発に取り組んでいます。その実現に向けて、基礎有機化学だけでなく、有機金属/元素化学、光化学、創薬化学、計算化学、さらには情報科学まで、幅広い分野の知識を総動員しています。分野をこえた研究者との協力を通じて、創薬や生命科学研究を加速し、人々の健康に貢献することが私たちの目標です。

選定理由

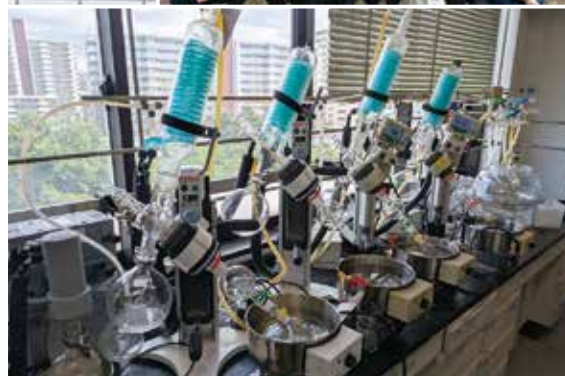
多くの研究室で共通することだと思いますが、EYELA製品には高い信頼性があります。ロータリーエバポレーターをはじめ、さまざまなEYELA製品を長年使用してきたことから、研究室を立ち上げる際には基本的にEYELA製品を導入することを考えていました。また、トラブル発生時のアフターサポートが充実している点も大きな魅力です。現在も定期的に訪問いただき、研究室運営を支える頼もしい存在となっています。

使用して

研究室ではスターラー付アルミブロック恒温槽BBS型+RCH-1000型を多数使用しています。以前はオイルバスを多用していましたが、フラスコに付着したオイルの洗浄不足によるトラブルを避けられることに加え、地震などによるオイル飛散の心配もなく、安全性の面でも優れていると感じています。また、ロータリーエバポレーターや冷却水循環装置についても安定して稼働しており、長年使い慣れた機器として高い信頼を寄せています。

当社に望むこと

スターラー付アルミブロック恒温槽は、フラスコ内部が設定温度に十分到達しているかを簡便に確認しにくい点が課題だと感じています。EYELA社内で実施されている温度評価の方法や、推奨される測定機器・サーモグラフィーなどがあればご紹介いただくと幸いです。また、ロータリーエバポレーターの結露対策についても今後の製品開発に期待しています。湿度の高い日本の環境に適した解決策をご提案いただければ大変ありがたく思います。



使用製品 | DATA

スターラー付
アルミブロック恒温槽
RCH-1000
+アルミビーズバス

シンプレックス™
SynFlex™



26-28 総合カタログ P.355